

医療用医薬品最新品質情報集（ブルーブック）

2021. 12. 03 第 2 版（2020. 08. 18 初版）

有効成分	クロベタゾールプロピオン酸エステル																														
品目名（製造販売業者） 【後発医薬品】	1	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「イワキ」	岩城製薬																												
	2	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「久光」	久光製薬																												
	3	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「MYK」	前田薬品工業																												
	4	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「タイヨー」	武田テバファーマ																												
	5	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「日医工」	池田薬品工業																												
	6	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「ラクール」	東光薬品工業																												
	7	グリジール軟膏 0.05%	佐藤製薬																												
品目名（製造販売業者） 【先発医薬品】	①	デルモベート軟膏 0.05%	グラクソ・スミスクライン																												
効能・効果	http://www.bbdb.jp																														
用法・用量	http://www.bbdb.jp																														
添加物	http://www.bbdb.jp																														
解離定数 ¹⁾	該当資料なし																														
溶解度 ¹⁾	水にほとんど溶けない。																														
原薬の安定性 ¹⁾	水	なし																													
	液性(pH)	なし																													
	光	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">状態</th> <th colspan="4">保存条件</th> <th rowspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>光</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気密</td> <td>散光</td> <td>室温</td> <td>—</td> <td>24 カ月</td> <td>変化なし</td> </tr> <tr> <td>開放</td> <td>UV ランプ*</td> <td>室温</td> <td>—</td> <td>3 カ月</td> <td>変化なし</td> </tr> <tr> <td>気密</td> <td>Xe ランプ*</td> <td>30℃</td> <td>—</td> <td>48 時間</td> <td>変化なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>* ; UV ランプ : 紫外線殺菌灯 Xe ランプ : 耐光試験機 (キセノンフェドメーター)、本機 1 時間の稼働は約 1 日の屋外曝露に相当する。</p>			状態	保存条件				結果	光	温度	湿度	期間	気密	散光	室温	—	24 カ月	変化なし	開放	UV ランプ*	室温	—	3 カ月	変化なし	気密	Xe ランプ*	30℃	—	48 時間
状態	保存条件					結果																									
	光	温度	湿度	期間																											
気密	散光	室温	—	24 カ月	変化なし																										
開放	UV ランプ*	室温	—	3 カ月	変化なし																										
気密	Xe ランプ*	30℃	—	48 時間	変化なし																										

	その他	保存条件					結果
		状態	光	温度	湿度	期間	
		気密	遮光	4℃	—	30 カ月	変化なし
		気密	遮光	室温	—	24 カ月	変化なし
		気密	遮光	30℃	—	24 カ月	変化なし
		気密	遮光	40℃	—	12 カ月	変化なし
		気密	遮光	50℃	—	12 カ月	変化なし
		開放	遮光	40℃	0%RH	12 カ月	変化なし
		開放	遮光	40℃	20%RH	12 カ月	変化なし
		開放	遮光	40℃	40%RH	12 カ月	変化なし
		開放	遮光	40℃	60%RH	12 カ月	変化なし
		開放	遮光	40℃	80%RH	6 カ月	変化なし
		開放	遮光	40℃	100%RH	6 カ月	6 カ月保存において、TLC で約0.5%の分解物のスポットを認めるものの、性状、含量に変化なし
膜透過性	なし						
BCS・Biowaiver option	なし						
薬効分類	264 鎮痛、鎮痒、収れん、消炎剤						
規格単位	0.05%1g						

【記載データ一覧】

	品目名	製造販売業者	BE	品質再評価	検討会	検査
1	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「イワキ」	岩城製薬	○	記載対象外		
2	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「久光」	久光製薬	○、○ †			
3	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「MYK」	前田薬品工業	○†			
4	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「タイヨー」	武田テバファーマ	○†			
5	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「日医工」	池田薬品工業	○†			
6	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「ラクール」	東光薬品工業	○			
7	グリジール軟膏0.05%	佐藤製薬	○†			

注)「BE」は、生物学的同等性 (BE) 試験結果を示し、○印がついているものは本情報集にデータを掲載している。○印の右に†印がついているものは動物試験のデータである。【4~6 ページ】

注)「品質再評価」は品質再評価結果通知が発出されている品目を示す。品質再評価は、内用固形製剤の溶出性を溶出試験で確認したものであり、外用剤は検討対象外である。【7 ページ】

注)「検討会」は、ジェネリック医薬品品質情報検討会での試験結果を示し、上記表中に番号の記載があるものは、試験を実施した品目である(上記表中の番号は、本情報集に掲載された試験結果中の番号と対応している)。全品目で空欄となっている場合は、試験未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該試験実施以降に承認された品目等である。【8 ページ】

注)「検査」は、後発医薬品品質確保対策事業検査結果を示し、上記表中に○印がついているものは検査を実施した品目である。全品目で空欄となっている場合は、検査未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該検査実施以降に承認された品目等である。【9 ページ】

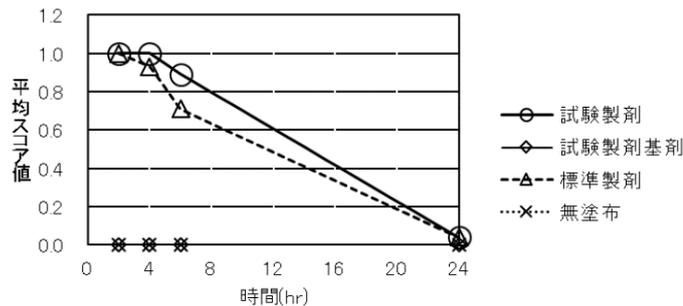
【生物学的同等性 (BE) 試験結果】

1

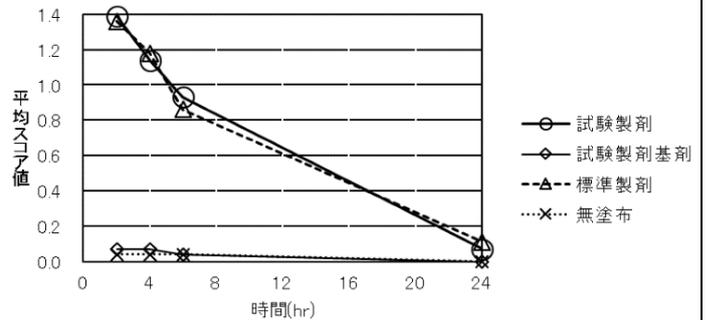
〔薬理試験〕

皮膚毛細血管収縮反応 (皮膚蒼白化) の測定

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏0.05%「イワキ」
血管収縮試験(2時間塗布) n=28



クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏0.05%「イワキ」
血管収縮試験(4時間塗布) n=28



〔被験薬〕

軟膏の試験	
・試験製剤	(クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「イワキ」)
・標準製剤	(軟膏 0.05%)

(インタビューフォームより)

2 <参考>

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「久光」

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏はヒトにおける毛細血管収縮試験で、すぐれた作用を示すことが認められている。

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏はラットのカラゲニン誘発皮膚浮腫、マウスのピクリルクロリド誘発接触皮膚炎に対し、すぐれた抗炎症作用を示すことが認められている。

上記3試験においてクロベタゾールプロピオン酸エステルクリームと標準製剤(クリーム、0.05%)の効力比較を行った結果、両剤間に有意差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。また、クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏と標準製剤(軟膏、0.05%)の効力比較を行った結果、同様に両剤間に有意差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。

3 <参考>

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「MYK」は、ラットを用いた肉芽増殖抑制試験において優れた抑制作用を示した。また、標準製剤(軟膏剤、0.05%)との効力比較の結果、両剤間に有意差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。

4 <参考>

- 1) カラゲニン足蹠浮腫抑制作用 (Wistar 系雄性ラット 例数 7)
- 2) モルモットの紫外線紅斑抑制作用 (Hartley 系雄性モルモット 例数 7)
- 3) 血管透過性亢進抑制作用 (Wistar 系雄性ラット 例数 5)
 - (1) 青染部位面積
 - (2) 色素漏出量
- 4) 皮膚浮腫抑制作用 (punch 法) (Wistar 系雄性ラット 例数 7)
- 5) 創傷治癒促進作用 (Wistar 系雄性ラット 例数 7)
- 6) 肉芽腫形成抑制作用 (Wistar 系雄性ラット 例数 7)
 - (1) 肉芽湿重量
 - (2) 肉芽乾燥重量
 - (3) 臓器重量に対する作用
- 7) アジュバント関節炎治療作用 (SD 系雄性ラット 例数 8)
 - (1) 臓器重量

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「タイヨー」及び標準製剤の抗炎症作用を急性、亜急性及び慢性炎症モデルを用いて比較検討した結果、いずれの実験項目においても両製剤の効果に有意差は認められなかった。したがって、両製剤は生物学的に同等と判断され、両製剤投与後の治療効果も同等と考えられた。標準製剤 (1g 中、クロベタゾールプロピオン酸エステル 0.5mg 含有)

(インタビューフォームより)

5 <参考>

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「日医工」
クロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム 0.05%
「日医工」は、ラットを用いたヒスタミン血管透過性亢進抑制試験において標準製剤 (クリーム剤、0.05%) との効力比較の結果、両剤間に有意差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。
また、クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「日医工」及び標準製剤 (軟膏剤、0.05%) について同様の試験を行った結果、同様の結果が得られ、両剤の生物学的同等性が確認された。

6

クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%「ラクール」
健康成人男子 20 名に血管収縮試験を行い、4 時間塗布後の薬剤塗布部の蒼白現象を指標とし、本剤及び標準製剤について統計解析を行った結果、両剤間に有意差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。

7 <参考>

グリジール軟膏 0.05%

Cotton pellet 肉芽腫法

SD系雄性ラット（1群10匹）を用いた Cotton pellet 肉芽腫法で、肉芽増殖抑制効果を検討した結果、グリジール軟膏 0.05%と標準製剤（軟膏、0.05%）間、またグリジールクリーム 0.05%と標準製剤（クリーム、0.05%）間に有意差は認められなかった。

Carrageenin 足浮腫法

Wistar系雄性ラット（1群20匹）を用いた Carrageenin 足浮腫法で、Carrageenin 誘発足浮腫抑制効果を検討した結果、グリジール軟膏 0.05%と標準製剤（軟膏、0.05%）間、またグリジールクリーム 0.05%と標準製剤（クリーム、0.05%）間に有意差は認められなかった。

【品質再評価（医療用医薬品品質情報（オレンジブック））】

記載対象外

【試験結果（ジェネリック医薬品品質情報検討会）】

なし

【後発医薬品品質確保対策事業検査結果】

なし

【分析法（定量試験）】

なし

【関連情報】

なし

【引用情報】

- 1) デルモベート軟膏 0.05% / クリーム 0.05% / スカルプローション 0.05% (製造販売元: グラクソ・スミスクライン株式会社) 医薬品インタビューフォーム (2021年3月改訂、第9版)